神奈川県内科医学会



# 創立35周年記念誌

神奈川県内科医学会会報 24号 合併号





# 神奈川県内科医学会 35年史



## 妃 舒

神 奈 川 県 医 師 会 会 長 田 中 忠 一

神奈川県内科医学会が創立35周年を迎えるにあたり、神奈川県医師会を代表し心からお慶び申し上げます。 神奈川県内科医学会は神奈川県医師会の専門部会として設立し、本会が認定した各分科会の連合体として 組織運営され現在に至っております。

創立以来,内科学の知識と技術の向上並びに親睦を目的とし,集談会,講演会,総会等の開催をはじめ, 県下四大学と密接な連携のもとに行われる臨床医学研修講座,年数回にわたる神内医ニュース,会報等の発 行など,誠に時宜を得た生涯教育の機会を会員に提供されていることは,高く評価され,深く敬意を表す次 第であります。

さて、最近「聖域なき構造改革」という旗印のもとに、我が医療業界においても、「医療構造改革」をキーワードとして新しい局面を迎えようとしております。ご承知のとおり、現在における日本の医療制度は、先進諸外国に比べて非常に低費用で、質の高い医療が提供されております。しかし、少子高齢化の波はさらに加速度を増してきており、これから本格的な高齢化社会を迎えるにあたり疾病に対するリスクの高い高齢者を対象とした医療制度改革が必須となっております。

21世紀を迎えた今こそ国民の望む医療とは何かを考え、患者さんのニーズに的確に対応することが我々医療業界に関わる者に課せられた使命であります。

そのためにも、神奈川県内科医学会の先生方には最新医学の研鑚を積むとともに、医師としての役割を果たすべく国民の健康を維持し、次世代へと正しい医療制度を引き継ぐべくご尽力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

最後に貴会の今後のご発展と会員の皆様のご健康を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



## 新世紀の記念誌によせて

神奈川県内科医学会会 長 中 山 脩 郎

20年史,25年史は,それぞれ,昭和62年3月(1987年),平成3年10月(1991年)に刊行されている。そのなかで,今も脳裡に深く刻まれていることは,昭和49年(1974年)に始まり,今日に至るまで,県下4大学と会員との良き医療連携と質の向上を目指した生涯教育のための臨床医学研修講座が,各大学持廻りで行われてきたことである。未だ医療連携という明確な概念が乏しかったこの時期に,日本国中に先がけてこの事業を継続的に展開された諸先輩の彗眼に敬意を表すると共に,かかる時代に先がけて医療的ニーズを推進することこそがわが神奈川県内科医学会の一貫した哲理であろうと考えている。

さて、我が国は世界に類を見ないほどの猛スピードで、わずか24年間で(1970~1994)高齢化社会から高齢社会となり、そのうえ、先進国でも目立つ少子化が加わり、それに伴う社会的困難がここ10数年間に大きくクローズ・アップされ、私共を取囲む医療環境も変革してきた。従来型の施設内医療と共に福祉・保健・行政との連携のうえに成立する在宅医療は介護保健の創設により拍車がかかり、私共の担当するレパートリーも広げられることとなった。

今世紀に入って高齢社会化は、さらに強くなって行くこととなり、それに伴って医療ニーズも変化し、当然、私共の生涯研修は、ますます多岐にわたるものとなって行くが、それの組織化・発展をはかることこそが本会の存在する所以であると考える。

I T時代が幕を明けた一方で、会員高齢化の目立つ現在、相方向の必要な情報伝達、入手等々のためのインターネット網の構築(情報化事業委員会)、生活習慣病克服のため、地域内科医自らの手で先ず高齢者高血圧症診療データの集積を検証しつつ地域内科医にしかできない地域医療への貢献(メガスタディ事業委員会)をはかる。この2つの委員会はすでにスタートし、今世紀初の事業を展開することとなった。

これらの事業が若い世代の共感を呼びおこし本会の新しい時代への発展を促すことを期待したい。

この35年史は20年史,25年史と共に昭和42年(1967年)創設以来の事業記録集で,その時代時代のなかでの諸先輩の間に流れる医療への情熱,哲学を汲みとることができると思う。ちょうど20世紀のひとくぎりしたこととなるが,今後の発展の資料として,殊に次ぎの世代の方々にその心を継承していただきたいものである。

## 35年史 目次

第1章	神奈川県内科医学会の歩み
第2章	歴代役員・常任幹事名簿
第3章	神奈川県内科医学会会則,細則
第4章	各種事業の概要と10年間の足跡 8
第5章	神奈川県下四大学内科教授との懇談会12
第6章	刊 行 書 物13
第7章	定時総会学術講演会・秋季学術総会・新春学術講演会14
第8章	集 談 会
第9章	臨床医学研修講座24
第10章	表彰状・感謝状受賞者28
編集後	章P

## 第1章

## 神奈川県内科医学会の歩み

神奈川県内科医学会が、栗原操、北条龍彦両先生 を中心にして県内科医学会の会則を立案し、神奈川 県医師会館大ホールにおいて, 第1回創立総会を開 催したのは昭和42年2月19日(日)であった。

昭和62年3月神奈川県内科医学会20年史が、つい で平成3年10月に25年史が発刊されている。

昭和48年9月松岡長一郎先生のあとをうけ、栗原 操先生が推されて第2代会長に就任した。栗原会長 は従来からの集談会等の事業に加え県下四大学にお ける臨床医学研修講座,四大学教授との懇談会、医 学における第3の波委員会等先生独自のアイディア を発揮され一時代を築かれた。当時の常任幹事会は 会長初め10名前後で、旧県医師会館近くのホテル三 愛の一室で、なごやかなうちにも、チームワークも よく、事業を成功させていった。会終了後は胸襟を 開いての二次会も懐かしい想い出である。

その後平成元年の第38回定時総会において, 栗原 会長が勇退し、副会長の松田文太郎先生が会長に就 任した。松田会長は栗原前会長の意思を継ぎながら、 その基本的理念として全会員間のコミュニケーショ ンを基本として医学の研究・教育と研修を積極的に 推進し、全人的医療を考慮しつつ、患者に対する説 明と同意による理解の普及に努力するとともに,病 診連携の一層の強化を目指すことをモットーにし た。

その間政治体系、社会機構の変化とともに情報化 の波、マルチメディアの進歩、専門志向等々めまぐ るしく変わる社会に対応して, たび重なる健康保険 法の改正がなされ、さらに診療技術、治療薬の進歩 等医療の現場でも年毎に変遷してきた。

内科医学会でもかかる変化に対処しながら、松田 会長のもと三役、並びに常任幹事の並々ならぬ努力 がなされた。

具体的には従来の事業計画を踏襲しつつ更に事業 の拡大を図った。特に日本臨床内科医会との連携に 力を注ぎ、平成3年10月19日、20日両日第5回日本

臨床内科医会を松田会長が主催し, 1,700名という 多くの参加者を得て全国規模の学術総会を立派に運 営し、神奈川県内科医学会の名を全国に轟かした。 また松田文太郎会長を会頭として、第13回日本臨床 内科医会総会を神奈川県内科医学会が担当し平成8 年4月13日横浜国際会議場にて開催したことは特筆 すべきことである。

その後、平成11年5月22日(日)に開催された第 58回神奈川県内科医学会定時総会において中山脩郎 先生が新会長に就任した。松田前会長が名誉会長に 就任した。

中山新会長は、これまでの基本方針を踏襲しつつ も、現在猛スピードで進む高齢・少子社会のもたら す現実を踏まえて、変化し続ける医療ニーズに地域 密着型の内科医として貢献しうる内科医会を目指し て2つの柱を打ち立てた。

その1つは、高齢化が目立つ本会において情報化 対策委員会によるIT時代に即応しインターネット 等の整備による会員への情報伝達・交換を密にする ことによるインターネット世代の加入を促進し、次 代を荷う層を厚くすること、第2は本邦ではそれが 困難視されている EBM について、各専門学会でそ れへの機運が盛り上がりつつある現在、メガスタ ディ事業委員会による地域の内科医が日常に扱う高 血圧患者について、多くの会員が無理なく参加し得 る EBM の流れに沿った study の推進は神奈川の地 域医療に貢献するだけでなく、それに参加する個々 の医療機関の質の向上につながるものであり、これ からの魅力的な事業となるであろう。

前述の如く, すでに平成3年10月に第5回日本臨 床内科医学会という全国規模の学会を担当したが、 周囲の要請もあり、平成13年度第1回常任幹事会に おいて平成15年度(2003年)の第17回日本臨床内科 医会を横浜市国際会議場において担当することとな り、神奈川の特色を持つ医学会開催の準備にとりか かることとなった。

## 第2章 歴代役員・常任幹事名簿

#### 会長・副会長・監事・常任幹事

#### 昭和42年2月~昭和50年3月

会 長 松岡長一郎 (元横浜医専教授)

副会長 栗原 操(横浜)

北条 龍彦(小田原市民病院長)

福島孝吉(横浜市大内科教授)

監 事 近藤 正夫 (川崎)

千葉 良夫 (藤沢)

北原 靖曠 (横須賀)

加藤 秀雄(逗葉)

井口善二郎 (鎌倉)

濱名正太郎 (鎌倉)

金子 義一(藤沢)

千葉 良夫(藤沢)

吉沢 攻(秦野・伊勢原)

菊池 博(大和)

豊田 和雄(相模原)

#### 昭和50年4月~昭和58年3月

会 長 栗原 操(横浜)

副 会 長 北条 龍彦(小田原)

今井 波吉 (横浜)

金子 好宏(横浜市大内科教授)

監 事 千葉 良夫 (藤沢)

松田文太郎 (川崎)

#### 昭和62年4月~平成1年3月

会 長 栗原 操(横浜)

副 会 長 松田文太郎 (川崎)

鈴木 潔(横浜)

染谷 一彦 (聖マリ医大)

監 事 野田 実(川崎)

北条 龍彦(小田原)

#### 昭和58年4月~昭和60年3月

会 長 栗原 操(横浜)

副会長 鈴木 潔(横浜)

松田文太郎 (川崎)

高邑裕太郎 (横浜市大内科教授)

監事 北条 龍彦(小田原)

野田 実(川崎)

#### 平成1年4月~平成3年3月

会 長 松田文太郎(川崎)

副 会 長 鈴木 潔(横浜)

金子 義一(藤沢)

篠原 幸人(東海大)

監 事 柘植 一道(藤沢)

原 政保(横浜)

#### 昭和60年4月~昭和62年3月

会 長 栗原 操(横浜)

副 会 長 松田文太郎 (川崎)

鈴木 潔(横浜)

田崎 義昭(北里大)

染谷 一彦 (聖マリ医大)

監 事 北条 龍彦(小田原)

野田 実(川崎)

常任幹事 原 政保(横浜)

星 昭行(川崎)

#### 平成3年4月~平成5年3月

会 長 松田文太郎 (川崎)

副 会 長 鈴木 潔 (横浜)

金子 義一(藤沢)

大久保隆男 (横浜市大)

監 事 柘植 一道 (藤沢)

原 政保(横浜)

常任幹事 河野 清(横浜)

中山 脩郎 (横浜)

星 昭行(川崎)

大迫 六郎 (川崎) 副会長 金子 義一 (藤沢) 橋本 敦生(横須賀) 中山 脩郎(横浜) 三科 孝夫(逗葉) 那須 義篤 (平塚) 井口善二郎 (鎌倉) 監 塚本 信之(横浜) 事 濱名正太郎 (鎌倉) 井口善二郎 (鎌倉) 杉本 正春 (藤沢) 常任幹事 河野 清(横浜) 高橋 功 (茅ヶ崎) 山崎 勝男 (横浜) 那須 義篤 (平塚) 野口 正春 (横浜) 攻 (秦野・伊勢原) 吉沢 星 昭行 (川崎) 河野 友治(相模原) 大迫 六郎 (川崎) 菊池 博 (大和) 橋本 敦生 (横須賀) 正山 堯 (鎌倉) 平成5年4月~平成7年3月 三科 孝夫(逗葉) 長 松田文太郎 (川崎) 神谷 正見(藤沢) 副会長 鈴木 潔 (横浜) 風呂中 隆(藤沢) 金子 義一(藤沢) 高橋 功 (茅ヶ崎) 木川田隆一(北里大) 霜島 正雄(小田原) 監 柘植 一道(藤沢) 河野 友治 (相模原) 塚本 信之 (横浜) 河野 清 (横浜) 平成9年4月~平成11年3月 常任幹事 中山 脩郎 (横浜) 会 長 松田文太郎 (川崎) 山崎 勝男 (横浜) 副会長 金子 義一(藤沢) 野口 正春(横浜) 中山 脩郎(横浜) 星 昭行 (川崎) 那須 義篤 (平塚) 大迫 六郎 (川崎) 監 事 井口善二郎 (鎌倉) 橋本 敦生(横須賀) 椎橋 忠男 (横浜) 三科 孝夫(逗葉) 常任幹事 河野 清(横浜) 井口善二郎 (鎌倉) 山崎 勝男 (横浜) 濱名正太郎 (鎌倉) 南澤 康雄 (横浜) 杉本 正春 (藤沢) 星 昭行 (川崎) 神谷 正見 (藤沢) 大迫 六郎 (川崎) 高橋 功 (茅ヶ崎) 山嵜 進康 (横須賀) 那須 義篤 (平塚) 堯 (鎌倉) 正山 吉沢 三科 孝夫 (逗葉) 攻(秦野・伊勢原) 河野 友治(相模原) 神谷 正見(藤沢) 菊池 博 (大和)) 高橋 功 (茅ヶ崎) 梶原 光令 (平塚) 平成7年4月~平成9年3月 霜島 正雄 (小田原)

河野

友治 (相模原)

会 長

松田文太郎(川崎)

#### 中 佳一 (厚木)

#### 平成11年4月~平成13年3月

会 長 中山 脩郎 (横浜)

副 会 長 那須 義篤 (平塚)

星 昭行(川崎)

梅村 敏(横浜市大)

監 事 椎橋 忠男 (横浜)

霜島 正雄(小田原)

常任幹事 河野 清(横浜)

山崎 勝男 (横浜)

南澤 康雄(横浜)

宮川 政昭(横浜)

荻原 泰(横浜)

大迫 六郎 (川崎)

福島 芳彦(川崎)

篠原 昭信(川崎)

関沢 英一(横須賀)

正山 堯(鎌倉)

三科 孝夫(逗葉)

佐川 雄三 (藤沢)

高橋 功 (茅ヶ崎)

梶原 光令(平塚)

岡本 行雄(小田原)

大利 昌久(足柄上)

河野 友治 (相模原)

志野原三津夫 (相模原)

菅原 悌三 (座間綾瀬)

中 佳一 (厚木)

#### 平成13年 4 月~現在

会 長 中山 脩郎 (横浜)

副 会 長 那須 義篤(平塚)

星 昭行(川崎)

梅村 敏(横浜市大)

監 事 椎橋 忠男 (横浜)

霜島 正雄(小田原)

常任幹事 山崎 勝男(横浜)

南澤 康雄 (横浜)

宮川 政昭(横浜)

萩原 泰 (横浜)

横山 登(横浜)

岡 正直(横浜)

福島 芳彦 (川崎)

篠原 昭信 (川崎)

三川 武彦 (川崎)

関沢 英一(横須賀)

正山 堯(鎌倉)

佐川 雄三 (藤沢)

高橋 功 (茅ヶ崎)

梶原 光令 (平塚)

倉田 隆 (中郡)

岡本 行雄(小田原)

大利 昌久(足柄上)

志野原三津夫 (相模原)

山本 晴章 (相模原)

菅原 悌三 (座間綾瀬)

中 佳一 (厚木)

## 第3章

## 神奈川県内科医学会会則,細則

[名称及び事務所]

第1条 本会は、神奈川県内科医学会と称し事務所 を神奈川県医師会内に置く。

[組織]

第2条 本会は、神奈川県内の地区内科医会の会員 をもって組織する。本会の業務運営上、評議 会の議を経て、県内を数地区に分けることが できる。

「目的及び事業」

(目的)

第3条 本会は、神奈川県医師会・神奈川医学会分科会・日本内科学会・日本臨床内科医会と緊密な連係を保ちながら、会員の学識技能の向上と相互の親睦を図り社会福祉に寄与することを目的とする。

(事業)

- 第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
  - (1) 総会,集談会,及び臨床医学研修講座等の開 催
  - (2) 学術研究調査に関する事項
  - (3) 地域保健活動に関する事項
  - (4) 保険医療の向上に関する事項
  - (5) 会員相互の親睦に関する事項
  - (6) その他目的達成上必要な事項

〔会員〕

(会員の資格・種別)

- 第5条 会員は、神奈川県内に開業・勤務し、主として内科を標榜する者で、神奈川県医師会員であること。但し、入会を希望する者が、神奈川県医師会非会員である場合は、施設の管理者が神奈川県医師会員であること。
  - (1) 個人会員(A会員)
  - (2) 施設会員
    - ① 病院会員(B)会員
    - ② 大学医学部会員(C)会員

(3) 病院及び大学勤務医は個人会員もしくは施設 会員を選択することができる。

[役員及び名誉会長,名誉会員,顧問] (役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1 名
  - (2) 副会長 3 名
  - (3) 常任幹事 若干名
  - (4) 幹事 若干名
  - (5) 監事 2 名
- (6) 評議員 若干名
- 2. 会長, 副会長, 幹事, 常任幹事, 監事は評議員 を兼任することができる。

(役員の職務)

- 第7条 会長は本会を代表して会務を統括する
- 2. 副会長は会長を補佐し会長事故あるときは代理する。
- 3. 常任幹事は,会長より与えられた業務を分担し, 会務を運営する
- 4. 幹事は、幹事会において意見を述べる。
- 5. 評議員は, 議案を審議する。
- 6. 監事は、会務及び会計を監査する。

(役員の選出)

- 第8条 会長,副会長,監事は評議員の議を経て選出し,総会において承認を求める。
- 2. 評議員, 幹事, 常任幹事の選出方法は細則で定める。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、神奈川県医師会の任期に準ずる。但し再任を妨げない。

(名誉会長, 名誉会員, 顧問)

- 第10条 本会に名誉会長,名誉会員,顧問を置くこ とができる。
- 2. 名誉会長,名誉会員,顧問は評議員の議を経て,会長がこれを委嘱する。

#### 〔委員会〕

(委員会の設置)

第11条 本会に次の委員会を設置する。 委員は会長がこれを委嘱する。

- (1) 日本臨床内科医会連係委員会
- (2) 広報委員会
- (3) 医療保険委員会
- (4) 学術委員会
- (5) その他必要な臨時委員会

[表彰]

第12条 本会は学術的に著しい貢献を上げた会員に 対し、表彰することができる。

[経費及び会計]

(本会の経費)

第13条 本会の経費は、会費、補助金、その他の収入金をもって充当する。

(会計年度)

**第14条** 会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。

〔会則〕

第15条 本会則の変更は、総会において出席会員の 過半数の同意を必要とする。

第16条 本会則施行上の細則は、別に定める。

#### 附 則

第17条 本会則は,平成12年5月27日より施行する。 昭和54年4月22日に設定した会則は同日を もって廃止する。

#### 細則

- 第1条 本細則は、神奈川県内科医学会会則第16条 により、これを定める。
- 第2条 総会は、毎年2回定期開催し、特別講演、シンポジウム等を行い、重要な会務、予算、決算等は、評議員会の議を経て承認を求める。また会長が必要と認めたときには、幹事会の議を経て臨時総会を開催することができる。
- 第3条 集談会は各地区が順次に主催する。 集談会の講演は、特別講演、パネルディス

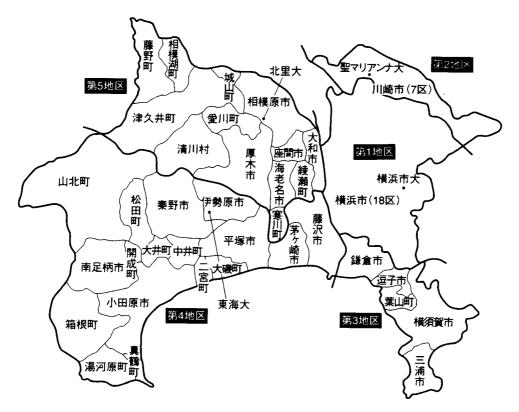
カッション,シンポジウム,一般演題を主とし,地区の責任制で演者を選出する。但し一 般演題は全会員より公募する。

- 第4条 評議員の選出方法は、次による。
  - (1) 各郡市内科医学会長(または当該医師会長) の推薦により当該内科医学会会員20名毎に1 名、未満1名
  - (2) 神奈川県医師会長の推薦により県医師会役員 2名
  - (3) 横浜市大,聖マリアンナ医大,北里大,東海大の内科学教室より各1名
- 第5条 幹事の選出方法は、次による。
  - (1) 各地区内科医会の本会評議員 5 名毎に 1 名, 未満 1 名
  - (2) 横浜市大,聖マリアンナ医大,北里大,東海大の内科学教室より各1名
  - (3) 本会会長の指名する者若干名
- 第6条 常任幹事の選出方法は,幹事より本会会長 の指名する者若干名
- 第7条 常任幹事会は,毎月定期的に開催する。 幹事会,評議員会は,会長が必要と認めた 時に,開催する。
- 第8条 会則第2条2の地区は次とする。
- 第1地区 横浜市
- 第2地区 川崎市
- 第3地区 横須賀市, 三浦市, 逗葉, 鎌倉市
- 第4地区 藤沢市,平塚市,小田原,足柄上,茅ヶ崎,秦野伊勢原,中郡
- 第5地区 相模原市,座間綾瀬,厚木市,大和市津 久井郡,海老名市
- 第9条 会費は、次の通りとする。
- 1. 個人会員 (A会員) 年額 8,000円
- 2. 施設会員
- (1) 病院会員 (B会員) 年額 30,000円
- (2) 大学医学部会員(C会員)

年額 80,000円

なお,名誉会長,名誉会員,顧問の年会費は免除 とする

#### 神奈川県内科医学会地区区分図



#### 附 則

本細則は、平成12年5月27日より施行する。昭和 54年4月22日に設定した細則は同日をもって廃止す る。

## 第4章 各種事業の概要と10年間の足跡

#### 1) 定時総会特別講演会及び秋季学術総会

創立総会以後第9回総会までは、神奈川医学会の 総会(毎年11月23日)と同時に総会を開催していた が, 第10回総会より5月に定時総会と特別講演会, 11月に秋季学術総会を開催することとなった。爾来 年2回の総会学術講演会を開催している。平成12年 11月の秋季学術総会で61回を数えるに至った。

秋季学術総会では平成に入り特別講演のほか「高 齢者医療を考える」をテーマにしてシンポジウムが 開催されている。

その他平成3年から新年学術講演会を毎年1月に 開催している。

また, 第12回定時総会以後毎年5月定時総会にて 本会運営に特に尽力された方、学術研究に業績を上 げられた方, 格別功労のあった会員並びに地区内科 医会を表彰することとなった。

また同日、臨床医学研修講座担当に報いるため、 横浜市立大学医学部、北里大学医学部、聖マリアン ナ医科大学、東海大学医学部の各内科学教室に感謝 状を毎年順次差し上げている。

#### 2) 地区集談会

県下5地区の担当にて年2回持ち回りで行われて いる。内容は午前中一般演題,午後から特別講演2 題という形式で、各地区の責任でそれぞれ特色のあ る内容で行われ、昭和43年6月横須賀担当にて第1 回集談会が開催されて以来, 平成13年2月横浜担当 の開催で通算66回を数えるに至った。最近は医学以 外の各方面の専門家にご講演をいただくユニークな 企画も多く見られる。

なお、今後は平成13年度定時総会において、年1 回開催することとなった。

#### 3) 臨床医学研修講座

神奈川県内科医学会では他に類を見ない独自な事

業活動として臨床医学講座がある。即ち、横浜市立 大学医学部、北里大学医学部、聖マリアンナ医科大 学, 東海大学医学部の県下四大学の内科学教室に, 臨床医学研修講座を開催していただくことになり, 毎年6月中の日曜日に各大学持ち回りで大学内にて 研修講演会, 各種施設の見学等の研修を行なってい

昭和49年6月第1回の臨床医学研修講座が横浜市 大医学部担当により行われ以来平成12年10月聖マリ アンナ医科大学,次いで13年9月東海大学による講 演で計28回を数えるにいたった。

研修講座の内容は実地医家が明日の診療にすぐに でも役立つような実践的なテーマであり極めて有意 義な内容となっている。

#### 4) 神奈川県内科医学会最近10年間の足跡

神奈川県内科医学会の最近の歩みを庶務的立場よ り辿ってみるとしよう。

#### 平成3年~平成4年度

平成2年松田文太郎先生が会長を栗原前会長より 引き継いでより、先ず大きなテーマが舞い込んでき た。それは県内科医学会が日本臨床内科医会に加入 して間もないとき、神津会長より平成3年開催予定 の第5回日本臨床内科医学会を会長として引き受け てくれないかという打診であった。

松田会長は歴代の日医会長が絶賛して止まなかっ た神奈川県内科医会の数々の業績を育んだ栗原名誉 会長の名誉のためにも、また、学会を主催する能力 をもっている会のためにも是非引きうけようと決心 した。

それより当内科医学会は平成3年秋の開催に備え て,「創造と連帯」をテーマに鈴木・金子両副会長 のもと準備を開始した。

鈴木副会長はプログラム編集、金子副会長は総務 を担当しそれぞれ細部の部署を検討、担当者を決定 した。

総務関係では総務委員長に金子副会長を中心に次 のメンバーで役割分担が決まった。

渉外係 柘植一道・大久保隆男・関野 壮 広報係 杉本正春・神谷正見・門山栄昇 日臨内係 金子義一・河野友治・山本芳昭 会計係 井口善二郎・杉本正春(兼務)・柘植 一道(兼務) 庶務係 星 昭行・大迫六郎・森部統仁・田辺 裕文・高良憲光

分担決定後各役割分担の具体的職務,予算書の作成,協賛金依頼等より総務委員会は始まった。

そして一年有余にわたり、12回の委員会を開催し、また、適宜学術部との合同準備委員会も開催された。 その結果、各委員会よりタイムスケジュールが発表された。

#### 学術委員会タイムスケジュール

年 月	ス ケ ジ ュ ー ル
平成3年5月	i. 一般演題公募締め切り
平成3年6月	<ul> <li>i. 一般演題発表及割り付け決定 (菊池・橋本・河野(清)各委員)</li> <li>ii. プログラム編集(中山委員) 抄録集の作成・座長の選任</li> <li>iii. 12日(水) 第2回ワークショップ委員会 18日(火) 第7回学術委員会</li> </ul>
平成3年7月	i. 座長依頼状・抄録集発刊 ii. 講師略歴(紹介状)整理(濱名委員) iii. 第8回学術委員会
平成3年8月	i . 会場及ビデオ検討(吉沢,那須委員) ii . 第 9 回学術委員会
平成3年9月	i. 講師宛プログラム及抄録集送付,再度講師依頼確認 ii. 日本内科学会関係者宛案内状発送 iii. 第10回学術委員会
平成 3 年10月 19日 大会 20日	i. 学術委員会最終打ち合わせ会 ii. 第11回学術委員会 iii. 18日会場設営

#### 総務委員会タイムスケジュール

開催予定日	
4月~5月	一般演題わりつけ
6月6日	崎陽軒・中華街(二次会)の交渉 (松田・金子・鈴木・藤原)
6月15日 (土)	第9回総務委員会 学会サービス責任者出席,一般演題枠どり,ソフト・ハードの部分報告,準備状況報告,メーカー 従事者数報告
6月20日 (木)	神奈川県内科医学会25年史編集委員会
6月26日 (水)	中和印刷入稿

7月10日 (水)	第10回総務委員会 協賛金納入状況・バス手配確認他
8月13日 (火) 8月末	第11回総務委員会 宿泊・エスカレーションの確認・出席者名簿の作成・展示出典の件・広報活動 25年史発刊
9月17日 (火)	第12回総務委員会 感謝状・土産物・開洋亭の確認・人員動員の件・他各準備状況
10月18.19.20日 (金・土・日)	会場設営第13回総務委員会 理事会・評議会・サテライトセッション 懇親会・二次会・大会・各部委員会
12月	決算報告

なお、2~3点追加すると

参加者の増加を図り、参加人数の把握のため事前 登録を行なった。

このことは予想以上の成果があった。

松田会長に、会の成功を祈念しながら経済的に少 しでもお手伝いしたいという発想より地元川崎市内 科医会で寄付を図ったところ、絶大な協力を得た。

かくして第5回日本臨床内科医学会が平成3年10 月19・20日開催された。

当日は天候に恵まれ、1,700名と前回を倍増する 参加者を得た。

学会の印象は日臨内ニュース第7号に山口いずみ 委員が掲載し絶賛しておられる。会場の設営・進行 ともに準備どおりで大きな混乱もなかった。

しかし最近の学会の運営をみ、また実際第93回日本内科学会・第13回日本臨床内科医会総会が横浜国際会議場で開催された時を振り返ってみたとき、時間と労力の比較、設営の流動化が僅か5年の違いでこうも変わるものかと唯々驚くばかりである。因にヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル・横浜国際会議場は皮肉にも平成3年8月オープンであった由。

平成2年度はまさしく第5回日本臨床内科医会総会に備え、かなりの神経を使ったことは否定できない。とはいえ事業計画に則り既成の医学集会即ち定時学術総会、秋季学術総会、臨床医学研修講座、地区集談会及び神内医ニュース・会報発行、会員の褒章等々は恙なく実行してきた。

平成3年度忘れ難き突発事項が起こった。過去15年有余にわたり県内科医学会を育て・発展への推進役であった栗原前会長の訃報に接したことである。その業績を讃え、栗原前会長を偲んで追悼寄稿が第16号の会報に詳しく掲載されている。

#### 平成5~6年度

事業計画は従来の方針を踏襲しながら、日本臨床 内科医会総会で試みたビデオの収録編集が成功裡に 終わったので、県内科医学会でも講演会でビデオを 採用することになった。これには那須副会長の非常 な努力があった。

平成5年総会で会費値上げ案が提出された。これは社会情勢の変化に伴う協賛金の減少であり、逆に通信費その他諸雑費の増加にあることに他ならない。幸い全員一致で賛同を得て、現行の会員5,500より8,000、大学年80,000が承認された。

会費値上げに関連して、内科医学会の今後のあり 方について、常任幹事会で種々討議された。

#### 要約すると

- i 各地区より納入されている会費の事務分担金 として返還するか否や
- ii 総会・集談会にある懇親会につき
- iii 神内医ニュースの発行回数を減らすか?
- iv 県下4大学内科教授との懇談会を中止しては
- v 諸講演会での受益者負担等々活発な意見の交 換があった

また、日臨内でVISA(ジャックスカード)日本

臨床内科医会会員証の奨励があり、会長も会費納入のスムースな運営のために積極的参加するように呼びかけられた。さらに医療ネットワーク研究会が話題に上がるようになった。

平成6年度事業計画の中で、松田会長は学術集会に会員の20%出席を目標にするよう明示され、会員の学会へ積極的参加を促された。

また、会則改定特別委員会・医療保険検討会が発足した。

会則改定特別委員会は10月1日に開催されたが、 その後いつの間にか立ち消えになった。

保険診療検討会は金子副会長を委員長に鈴木(昌伴)・上田・大迫・長尾・杉本・柘植・中各委員によって構成され、保険診療の実際(検査篇)を県内科医学会会報別冊として発行した。

#### 平成7~8年度

平成8年4月13日第13回日本臨床内科医会総会が 横浜で開催されることになり、松田会長が会頭に就 任し会を主宰するため、7年度は始めよりその準備 にとりかかることになった。

6月5日内科学会会頭の黒川教授を松田会長が表 敬訪問し、その際学会総括者の渡辺助教授と打ち合 わせた。

6月15日には、会場となる横浜国際会議場及ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルを訪れ細目の検討を行なった。

総会は総会議事・特別講演2題発表があり、また 市民講座が併行して開講されて無事終了した。

会場の設営は内科学会及び事務局にお世話になり 大助かりであった。 秋の学術総会と異なり春の総会は規模が小さいこともあるが、エネルギーの消耗が少なかった。

この年に日本臨床内科医会で認定医制度が設けられることになり、松田会長より9月4日申請について各内科医会長宛に通知した。

平成8年1月日臨内認定医運営委員会で審査委員会が開催され、神奈川県分344名全員認定されることとなったと那須副会長より報告があった。

#### 平成 9~10年

県内科医学会も諸般の事情より財政的に危機に 陥ってきたが、会長の事業の縮小はしない・会費は 値上げしないと言う基本方針にしたがって、財政建 て直しが検討された。それが契機となって、会長の 発案による常任幹事会の前に、製薬メーカーの勉強 会を行なうこととなった。

このお蔭で大分プラスになった。

平成9年度事業計画のなかに日本臨床内科医会へ 全員加入の気運を高める運動の普及推進を図る項が 入ったがなかなか予定どおりにならなかった。

当初に記したが、10年間学術担当は事業計画に 則った諸種行事、さらに臨時の学術講演会等々活発 におこなったが、この点別の項目で掲載されている と思う。

#### 平成11~12年

平成11年5月総会において松田会長が退任され, 中山副会長が会長に選任され新しい門出となった。

この際庶務幹事も、宮川常任幹事にバトンタッチした。

## 第5章

## 神奈川県下四大学内科教授との懇談会

神奈川県内科医学会元会長栗原操先生のご発案の 一つに標記懇談会の開催がある。

神奈川県には横浜市大医学部,北里大学医学部, 聖マリアンナ医科大学,東海大学医学部の四医科大 学がある。これらの大学の内科学教室教授と一堂に 会し,研修活動,地域医療等に関して意見を交換し, 常に緊密な連携を保持してきた。現在はその目的を 達成したため中断している。

平成3年7月6日(土) 開洋亭

平成4年7月18日 (土) ホテル・ニューグランド

平成6年7月16日(土) 大珍楼新館

## 第6章 刊行書物

定期的刊行誌と適宜発刊しているものがある。

#### 1) 神奈川県内科医学会会報

昭和50年8月創刊号以来毎年刊行している。その 内容は定時総会報告,学術講演会,集談会,臨床医 学研修講座,地区だより等である。

第15号 平成2年9月

第16号 平成3年9月

第17号 平成5年5月

第18号 平成6年3月

第19号 平成7年4月

第20号 平成8年7月

第21号 平成9年4月

第22号 平成10年4月

第23号 平成11年7月

#### 2) 神内医ニュース

平成2年1月20日第1号が発刊された。会員向けの速報性のある情報提供と会員相互の親和を図るため会報以外のニュースを年4回発行することとなった。以来平成13年7月現在第47号が発刊され、時流に沿った内容がトピックスとして紹介されている。

#### 3) 神奈川県内科医学会20年史

昭和62年3月21日発行

#### 4) 神奈川県内科医学会25年史

平成3年10月15日発行

#### 5) 保険診療の実際「検査編」

神奈川県内科医学会保険診療委員会 平成6年発行

#### 6)保険診療Q&A

神奈川県内科医学会医療保険委員会 平成9年1 月発行

#### 7) 保険診療 Q&A

神奈川県内科医学会保険診療委員会 平成13年4

月発行

#### 8) ビデオ発刊

平成3年日本臨床内科医会総会で初めて講演会記録がビデオで収録されることになった。以来神奈川県内科医学会定時総会学術講演会,及び秋季学術総会において記録,編集され広く会員への医学会の内容の普及に役立っている。

#### くビデオー覧表>

第41回 学術総会 高齢者医療を考えるⅡ

第42回 総会 内科領域における新しい画像診断法

第44回 総会 内科と内視鏡

第45回 学術総会 高齢者医療を考えるⅣ

第46回 総会 臓器移植の現状

第47回 学術総会 高齢者医療を考える V

第48回 総会 臨床内科医に必要な各科領域別診断 「その1」

第49回 学術総会 高齢者医療を考える VI

第50回 総会 臨床内科医に必要な各科領域別診断 「その2」

第51回 学術総会 高齢者医療を考える ₩

第52回 総会 排尿障害と漢方/遺伝子

第53回 学術総会 高齢者医療を考える™

第54回 総会 骨粗しょう症を防ぐために

第55回 学術総会 高齢者医療を考える IX

第56回 総会 内視鏡的治療とインターベンショナ ル治療の最近の進歩

第57回 学術総会 高齢者医療を考える IX

第58回 総会 動脈硬化のリスクファクタ―新しい 考え方―

第59回 学術総会 高齢者医療を考える X 一介護保険—

第60回 総会慢性肝炎治療の実態と戦略

第61回 学術総会 高齢者医療を考えるXI

一感染症—

## 第7章

## 定時総会学術講演会・秋季学術総会・新春学術 講演会

#### 第41回秋季学術総会

平成2年11月11日(日)

神奈川県医師会館4階ホール

シンポジウム

メインテーマ

「高齢者医療を考えるⅡ—循環器疾患を中心に—」 座長 東海大学医学部内科学教授 篠原 幸人 神奈川県内科医学会副会長 鈴木 潔

(1) 「高齢者の高血圧治療」 横浜市立大学医学部第2内科学教授

石井 當男

- (2) 「高齢者の虚血性心疾患」 東京都老人医療センター副院長 上田 慶二
- (3) 「高齢者に対する薬の使い方」 東京医科大学老年病学教授 勝沼 英字
- (4) 「高齢者の在宅管理(実際の相談を中心に)」 東海大学病院総合相談室ソーシャルワーカー 大本 和子
- (5) 「パネルディスカッション」

#### 第42回 定時総会・学術講演会

平成3年5月25日(土)

神奈川県医師会館4階ホール

シンポジウム

メインテーマ

「内科領域における新しい画像診断法」

座長 東海大学放射線科学教授 松山 正也 横浜市立大学医学部内科学第1教授

大久保隆男

(1) 「超音波」

東海大学医学部放射線助手 岩田 美郎

(2)  $\lceil CR_{\perp} \rceil$ 

北里大学病院 専任講師 矢那瀬信雄

(3)  $\Gamma$ CT  $\perp$ 

横浜市立大学医学部内科学講師 鈴木 俊介

(4) \( \bullet MRI \)

聖マリアンナ医科大学助教授 盧田 浩

(5)  $\lceil DSA \rfloor$ 

昭和大学藤が丘放射線科助教授 鈴木 真

(6)  $\lceil RI \rfloor$ 

昭和大学藤が丘放射線科教授 片山 通夫

#### 第43回 秋季学術総会

平成3年11月10日(日)

神奈川県医師会館4階ホール

シンポジウム

メインテーマ

「高齢者医療を考えるⅢ―老人呼吸器疾患を中心 に―」

座長 横浜市立大学医学部

(1) 「老人の呼吸器疾患の特徴」

東北大学老人科学教授 佐々木英忠

(2) 「老人の慢性気道感染症とその治療」

東京大学老年病学助教授福地義之助

#### 第44回 定時総会・学術講演会

平成4年5月23日(土)

神奈川県医師会館

シンポジウム

メインテーマ

「内科と内視鏡」

座長 横浜市立市民病院呼吸器科部長 渡辺古志郎 神奈川県内科医学会常任幹事 濱名正太郎

(1) 「喉頭」

横浜市立市民病院耳鼻科部長 鈴木 理文

(2) 「気管支」

横浜市立市民病院呼吸器科 国頭 英大

(3) 「食道・胃・十二指腸」

横浜市立市民病院消化器科部長 佐島 啓清

(4) 「結腸・直腸」

横浜市立市民病院癌検診センター

診断科医長 依田 敏

#### 第45回 秋季学術総会

平成4年11月7日(土)

神奈川県医師会館

「高齢者医療を考えるIV ―高齢者の精神障害を中心として―」

座長 神奈川県内科医学会副会長 鈴木 潔 「高齢者の健忘と痴呆」

横浜市立大学医学部精神科教授 小阪 憲司

#### 第46回 定時総会・学術講演会

平成5年5月22日(土)

神奈川県医師会館

シンポジウム

メインテーマ 「臓器移植の現状」

座長 東京女子医科大学腎臓病総合医療 センター所長

同 第三外科学教授 大田 和夫

(1) 「臓器移植の基礎と腎臓移植の臨床」 東京女子医科大学腎臓病総合医療 センター所長

同 第三外科学教授

大田和夫

(2) 「心臓移植の現状」 大阪大学医学部バイオメディカル

> 研究センター 臓器移植部助教授

白倉 良太

(3) 「肝臓移植の臨床」

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 第三外科学教授 寺岡 慧

(4) 「移植のシステムと我が国の現状」 東京女子医科大学腎臓病総合医療センター所 長

同 第三外科教授

大田 和夫

#### 第47回 秋季学術総会

平成5年11月13日(土)

神奈川県医師会館

シンポジウム

メインテーマ

「高齢者医療を考えるV―高齢者の精神障害を中心として―」

座長 神奈川県内科医学会会長

松田文太郎

(1) 「高齢者痴呆の診断と治療」

聖マリアンナ医科大学教授

長谷川和夫

座長 神奈川県内科医学会副会長

鈴木 澪

(2) 「高齢者在宅ケアの諸問題」〜医師の立場から〜

川崎市立井田病院副院長

岡島 重孝

~保健婦の立場から~

川崎市立井田病院保険医療部主幹

中田まゆみ

(3) 「総合討論」

#### 第48回 定時総会・学術講演会

平成6年5月21日(土)

横浜市教育会館

シンポジウム

テーマ

「臨床内科医に必要な各科領域別診断」

その1

座長 神奈川県内科医学会副会長(北里大学教授)

木川田隆一

(1) 「循環器」

北里大学医学部内科学講師

長谷川延広

(2) 「神経」

東海大学医学部第5内科学講師 吉井 文均

(3) 「内分泌代謝」

聖マリアンナ医科大学第3内科学講師

関田 則昭

(4) 「呼吸器」

横浜市立大学医学部第1内科学講師

池田 大忠

(5) 質疑応答

#### 第49回 秋季学術総会

平成6年11月12日(土)

神奈川県医師会館4階ホール

シンポジウム

テーマ「高齢者医療を考えるⅥ」─腎及び泌尿器疾患を中心として─

座長 北里大学医学部内科学教室教授

神奈川県内科医学会副会長

木田川隆一

(1) 「高齢者の腎疾患」

北里大学医学部内科学教室助教授

小林 豊

(2) 「高齢者の泌尿器疾患」 北里大学医学部泌尿器科学教室講師

横山 英二

(3) 総合討論

#### 第50回 定時総会・学術講演会

平成7年5月20日(土)

神奈川県医師会館

シンポジウム

テーマ

「臨床内科医に必要な各科領域別診断」その 2 座長 北里大学医学部内科 名誉教授 木川田隆一

(1) 「消化器」

ア 胃潰瘍治療の理想

北里大学医学部内科学教室教授 西元寺克禮

イ B型およびC型慢性肝炎の外来治療について 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター

飯野 四郎

(2) 「血液疾患」

輸血を中心にして─輸血の新しい動向─ 東海大学医学部内科学教室教授 長尾 忠美

(3) 「ストレスと心身症・うつ病」

横浜市立大学医学部精神医学教室教授

小阪 憲司

(4) 「質疑応答」

#### 第51回 秋季学術総会

平成7年11月11日(土)

神奈川県医師会館4階ホール

シンポジウム

テーマ

「高齢者医療を考えるⅥ」

座長 神奈川県内科医学会副会長

中山 脩郎

(1) 「めまい―めまいの検査と治療方針―」

ア 耳鼻科医の立場から

北里大学耳鼻咽喉科教室教授

徳増 厚二

イ 内科医の立場から

横浜市立大学医学部神経内科学教室教授

黒岩 義之

(2) 「内科臨床医が知っておきたい最近の知見及 び救急を要する眼疾患について」

が、「大心と女」の成人心について」

北里大学医学部眼科学教室教授 石川 哲

#### 第52回 定時総会・学術講演会

平成8年5月18日(土)

神奈川県医師会館4階ホール

特別講演「内科領域における漢方療法」

北里大学医学部泌尿器科学教授 石橋 晃 シンポジウム

「遺伝子の臨床応用」

座長 神奈川県内科医学会副会長

中山 脩郎

ア 「遺伝子の基礎知識」

横浜市立大学医学部第2内科学教室助教授

梅村 敏

イ 「胃がんの遺伝子異常」

横浜市立大学医学部泌尿器学教室講師

矢尾 正祐

ウ 「高血圧と遺伝」

横浜市立大学医学部第2内科学教室助教授

梅村 敏

エ 「遺伝子からみた神経疾患」

東海大学医学部神経内科学教室講師

吉井 文均

オ 「遺伝子学を中心として」

虎ノ門病院分院消化器科部長

熊田 博光

カ「討論」

#### 第53回 秋季学術総会

平成8年11月9日(土)

神奈川県医師会館4階ホール

(1) 特別講演 「在宅医療と診療報酬」 神奈川県医師会理事 飛鳥田 護

(2) シンポジウム

「高齢者医療を考えるⅧ─在宅医療─」

県立厚木病院麻酔科部長

座長 神奈川県内科医学会副会長 中山 脩郎

ア 「呼吸器管理」

上出 正之

イ「消化器管理」

聖マリアンナ東横病院外科部長 山村 卓也

ウ 「泌尿器管理」

横浜市立港湾病院泌尿器科部長 宮井 啓国

エ 「皮膚管理」

県立がんセンター皮膚科部長 内山 光明

オ 「在宅医療と地域との連携」

横浜市神奈川保健所指導係長 岸本 文子

#### 第54回 定時総会・学術講演会

平成9年5月17日(土)

神奈川県総合医療会館

シンポジウム

テーマ「骨粗しょう症を防ぐために」

座長 神奈川県内科医学会副会長 中山 脩郎 聖マリアンナ医科大学第 2 内科学教室

助教授 武者 春樹

(1) 「内科から」

徳島大学医学部第1内科学教授 松本 俊夫

(2) 「整形外科から」

東京大学医学部整形外科学助手 川口 浩

(3) 「スポーツ医学から」

東京都衛生部技監 林 泰史

(4) 「婦人科から」

横浜市立大学医学部婦人科学

講師 五來 逸雄

(5) 「骨と栄養」

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

栄養部長 中村 丁次

(6) 討論

#### 第55回 秋季学術総会

平成9年11月8日(土)

神奈川県総合医療会館

シンポジウム

テーマ「高齢者医療を考えるIX. 救急医療

一初診から搬送まで一」

座長 神奈川県内科医学会学術委員会委員長

南澤 康雄

東海大学神経内科学科学教室助教授

吉井 文均

(1) 「神奈川県における救急医療の実態」 横浜市立大学医学部公衆衛生学

助手 水嶋 春朔

(2) 「不整脈」

聖マリアンナ医科大学 救命救急センター

センター長 明石 勝也

(3) 「呼吸困難」

北里大学医学部 救命救急センター

副部長 相馬 一亥

(4) 「腹痛」

東海大学医学部 救命救急センター

助教授 猪口 貞樹

(5) 「最近の救急医療の現状と展望」

横浜市立大学医学部 救命救急センター

センター長 杉山 貢

(6) 「討論」

#### 第56回 定時総会・学術講演会

平成10年5月22日(土)

神奈川県総合医療会館

シンポジウム

テーマ「内視鏡的治療とインターベンショナル治療 の最近の進歩」

ア 「インターベンショナル治療 (PTCAステント) における冠動脈エコーの役割」

神奈川県立循環器呼吸器病センター

循環器科部長 遠山 慎一

イ 「呼吸器外科領域における内視鏡的治療と最近 の進歩」

済生会神奈川県病院

呼吸器科部長 加勢田 静

- エ 「早期食道がんの内視鏡的治療と最近の進歩」東海大学医学部 外科学教室教授 幕内 博康
- オ 「胃根治を目的とした胃がんの内視鏡治療 一適応と成績―」

東海大学東病院院長

比企 能樹

#### 第57回 秋季学術総会

平成10年11月7日(土) 神奈川県総合医療会館 シンポジウム

テーマ「高齢者医療を考えるIX―内科医のための高 齢者の皮膚疾患―」

座長 神奈川県内科医学会学術委員会委員

 正山
 堯(鎌倉)

 木田
 光広(北里大)

(1) 「高齢者のかゆみについて」 北里大学医学部皮膚科学助教授 米元 康蔵

(2) 「湿疹・皮膚炎群―高齢者の皮膚疾患の治療 に必要な外用療法の知識―」

聖マリアンナ医科大学皮膚科学助教授

窪田 泰夫

(3) 「感染症―足白癬・爪白癬・疥癬の診断と治療―」

横浜市立大学医学部皮膚科学講師

石井 則久

(4) 「帯状疱疹―帯状疱疹後の神経痛を残さないために―」

東海大学医学部皮膚科学助教授 小澤 明

(5) 「討論」

#### 第58回 定時総会・学術講演会

平成11年 5 月22日(日) パシフィコ横浜会議センター シンポジウム

テーマ「動脈硬化のリスクファクター

―新しい考え方―」

座長 神奈川県内科医学会副会長 中山 脩郎

三越厚生事業団常務理事

中村 治雄

ア「高血圧」

横浜市立大学医学部第2内科教授 梅村 敏

イ 「血清脂質の意義及び喫煙の意義」

東海大学医学部内科学助教授 本間 康彦

ウ 「糖尿病と動脈硬化」

横須賀共済病院内科部長 中島 茂

エ 「肥満 (運動療法)」

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

循環器内科助教授 武者 春樹

オ「討論」

#### 第59回 秋季学術総会

平成11年10月30日(日)神奈川県総合医療会館 シンポジウム テーマ

「高齢者医療を考えるX ─介護保険」

座長 神奈川県内科医学会常任幹事 三科 孝夫 ア 「背景・理念」

北海道大学医学部付属病院総合診療部教授

前沢 政次

イ 「制度論」

神奈川県福祉部高齢者保健福祉課長

山本 隆夫

ウ 「医療の関わりと問題点」

神奈川県医師会理事

雪下 國雄

エ 「三者(保健・医療・福祉)の連携」

逗葉医師会理事 角野 禎子

オ「ケアマネージャーの立場から」

大和特別養護老人ホーム敬愛会理事長

島村 俊夫

カ 「訪問看護ステーションの立場から」 横浜市港北区医療センター看護ステーション

管理者 乙坂 佳代

キ「全体討論」

#### 第60回 定時総会・学術講演会

平成12年5月27日(日)

神奈川県総合医療会館

シンポジウム

テーマ 「慢性肝炎治療の実態と戦略」

座長 神奈川県立がんセンター副院長 多羅尾和郎

(1) 「ラミプジンを使用したB型慢性肝炎の治療」 昭和大学藤が丘病院消化器内科助教授

与芝 真

(2) 「慢性肝炎の戦略」

済生会横浜市南部病院副院長 保坂 洋夫

(3) 「ラクトフェリンによるC型慢性肝炎の治療」 横浜市立大学医学部付属市民総合医療セン ター

消化器病センター教授 田中 克明

(4) 「C型慢性肝炎における治療指針と諸問題」 東海大学医学部内科学教室助教授

渡辺 勲史

(5) 「難治性慢性肝炎に対するIFN治療の効果」 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

消化器内科副部長 佐藤 明

(6) 「INF療法によるC型慢性肝炎の組織学的治癒」

北里大学医学部内科学1講師 渋谷 明隆

(7) 「GTP80単位未満をめざした多剤併用療法 を含めた強力な抗炎症療法によるC型慢性肝炎 からの肝硬変症および肝癌への移行阻止」

神奈川県立がんセンター副院長 多羅尾和郎

(8) 「全体討論」

#### 第61回 秋季学術総会

平成12年11月11日 (土)

神奈川県総合医療会館

シンポジウム

テーマ「高齢者医療を考えるXI―感染症―」 座長 聖マリアンナ医科大学微生物学

教授 嶋田甚五郎

特別講演 I 「加齢と感染防禦能―老人は何故易感 染性か―」 横浜市立大学医学部臨床検査部助教授

伊藤 章

特別講演 II 「結核と非結核性抗酸菌症─今日の問題点─」

国立療養所神奈川病院 院長 藤野 忠彦 特別講演Ⅲ 「高齢者の一般細菌感染症―呼吸器感 染症を中心に―」

東北大学加齢医学研究所 呼吸器腫瘍研究分野

助教授 渡辺 彰

総合討論

#### 第62回 定時総会・学術講演会

平成13年5月19日(土)

神奈川県総合医療会館

シンポジウム

「日本独自のEBM作りは可能か

一神奈川高血圧メガスタディを目指して―」

座長 神奈川県内科医学会副会長 梅村 敏 横浜市立大学医学部公衆衛生学教授

杤久保 修

(1) 「血圧の測定法とその問題点」

横浜市立大学公衆衛生学教授 杤久保 修

(2) 「日本における大規模臨床試験施行上の問題 点―JATE研究を教訓に―」

琉球大学医学部第3内科教授 瀧下 修一

(3) 「家庭血圧・自由行動下血圧の経済効果 一電子血圧計を用いた高血圧治療メガスタ ディ(HOMED—BP研究)」

東北大学大学院医学, 薬学研究科臨床薬学

教授 今井 潤

- (4) 「開業医にも可能なEBM作りへの参加方法」 神奈川県内科医学会常任幹事 宮川 政昭
- (5) 全体討論

#### 新春学術講演会

平成3年1月17日(木)

横浜東急ホテル

「日常診療における見落としやすい心電図,見間違いやすい心電図―特に虚血性心疾患を中心に―」

杏林大学第二内科教授

石川 恭三

「加齢と循環器疾患(虚血性心疾患を中心に)」 東京女子医科大学循環器内科学教室教授

細田 瑳一

平成4年1月23日(木)

横浜東急ホテル

「胃潰瘍発生の季節性と胃粘膜防御因子」

横浜市立大学第一内科講師

水野 忠興

平成10年1月22日(木)

横浜東急ホテル

「降圧剤の大規模第4相 調査研究から高血圧薬治 療を考える」

横浜市立大学医学部第二内科学教授

石井 當男

平成5年1月14日(木)

横浜東急ホテル

「腎障害を伴った高血圧の治療」

慶応大学医学部内科学教室教授 猿田 享男

平成11年1月21日(木)

「血清脂質異常と動脈硬化―特にレムナントリポ蛋 白を中心に一口

東邦大学医学部付属佐倉病院

臨床検査医学研究室教授

白井 厚治

平成6年1月20日(木)

横浜東急ホテル

「外来呼吸器感染症の診断と治療」

谷本 晋一 慈恵医大第四内科客員教授

平成7年1月19日(木)

横浜東急ホテル

「糖尿病治療の新しい流れについて」

帝京大学医学部第二内科助教授 山内 俊一

平成12年1月20日(木)

横浜東急ホテル

「C型肝硬変症およびC型慢性肝炎の発癌の仕組み とその対策」

神奈川県立がんセンター部長内科第二科部長

多羅尾和郎

平成8年1月18日(木)

横浜東急ホテル

「肥満と糖尿病―インスリン抵抗性の仕組みを探る」 平成13年1月18日(木)

東京慈恵大 健康医学センター

健康医学科教授 池田 義雄

神奈川県総合医療会館

「アレルギー病はなぜ増えたか」

東京医科索科大学医学部医動物学教授

藤田紘一郎

平成9年1月16日(木)

横浜東急ホテル

#### 第8章 集談会

#### 第47回 集談会

平成3年2月17日(日)

川崎市医師会館

一般演題 29題

特別講演 「生物から学ぶ」

東京大学教養学部

黒田 玲子

#### 第48回 集談会

平成4年3月8日(日)

横須賀さいか屋

一般演題 28題

#### 特別講演

(1) 「マイクロカウンセリング・傾聴技法につい て」

専修大学教授 椙山喜代子

(2) 「内科医のための臨床心理学入門」

日本女子大学教授

国谷 誠朗

#### 第49回 集談会

平成4年9月27日(日)

茅ヶ崎市民文化会館

一般演題 35題

#### 特別講演

(1) 「AIDSの臨床」

東京慈恵会医科大学名誉教授 上田

(2) 「生命科学と人間の生命」

東京大学教授

多田 富男

#### 第50回 集談会

平成5年3月7日(日)

小田急厚木ホテル

一般演題 32題

#### 特別講演

(1) 「ウィルス肝炎の最近の話題」

昭和大学藤が丘病院消化器内科助教授

(2) 「死への準備教育の必要性」 上智大学文学部教授

アルフォンス・デーケン

#### 第51回 集談会

平成5年10月17日(日)

横浜市総合福祉センター

一般演題 38題

特別講演 2題

- (1) 「高齢者のカルシウム代謝」―基礎と臨床― (財)癌研究会付属病院院長 尾形 悦郎
- (2) 「長寿社会と転換期の医療」

龍谷大学社会学部教授

奈倉 道隆

#### 第52回 集談会

平成6年2月27日(日)

川崎市医師会会館

一般演題 22題

特別講演 「糖尿病診療の最前線」

東京慈恵会医科大学 第3内科講師

坂本 要一

## 第53回 集談会

平成6年10月23日(日)

ホテル 鶴ヶ岡会館

一般演題 29題

#### 特別講演

(I) 「脳と人間の進歩」

東京大学解剖学教室教授

養老 孟司

(Ⅱ) 「アレルギー疾患の変遷と今後の動向」

国立相模原病院院長

宮本 昭正

#### 第54回 集談会

平成7年2月26日(日)

厚木ロイヤルパークホテル

与芝 真 一般演題 26題

特別講演 「呼吸器感染症の診断と治療」

谷本内科クリニック

谷本 普一

#### 第55回 集談会

平成7年10月15日(日)

ザ・ウイング

一般演題 24題

特別講演

(I) 「上部消化管出血の病態と内視鏡的治療」 北里大学医学部内科学教室教授 西元寺克禮

(Ⅱ)「心不全の病態と治療 ―最近の考え方―」 東海大学医学部内科学教室教授 半田俊之介

#### 第56回 集談会

平成8年3月24日(日)

神奈川県医師会館4階ホール

一般演題 27題

特別講演

(I) 「最近の抗菌薬療法」

神奈川県衛生看護専門学校付属病院院長

松本 文夫

(Ⅱ)「脳卒中の予防」

横浜市立市民病院院長 本多 虔夫

#### 第57回 集談会

平成8年10月20日(日)

川崎市医師会館6階講堂

一般演題 28題

特別講演 「うつ病と自殺」

浜松医科大学名誉教授 大原健士郎

#### 第58回 集談会

平成9年3月9日(日)

横須賀さいか屋

一般演題 21題

特別講演

(1) 「がん治療の現状」

国立がんセンター総長

阿部 薫

(2) 「福祉と医療」

横須賀基督教社会館館長

阿部 志郎

#### 第59回 集談会

平成9年10月26日(日)

大磯滄浪閣バンケットホール

一般演題 30題

#### 特別講演

(I) 「医学教育と研修,21世紀を迎えて」

東海大学医学部長

黒川 清

(Ⅱ)「老い先は長く」

浄土宗大吉寺住職

寺内 大吉

#### 第60回 集談会

平成10年3月29日(日)

相模原市ホテル ラ・ポール千寿閣

一般演題 23題

#### 特別講演

(I) 「うつ病と神経症の臨床―鑑別と医療の要点―」

浜松医科大学名誉教授

大原健士郎

(Ⅱ) 「パーキンソン病―過去・現在・未来―」 北里大学医学部名誉教授 古和 久幸

#### 第61回 集談会

平成10年10月25日(日)

横浜市健康福祉総合センター

一般演題 19題

#### 特別講演

(I) 「総合診療医学が目指すところ」

聖マリアンナ医科大学

総合診療医学講座

中村 俊夫

(Ⅱ) 「アンデスの古代文明」

写真作家 義井 豊

#### 第62回 集談会

主任教授

平成11年2月21日(日)

薫 川崎市医師会館

一般演題 19題

#### 特別講演

(I) 「医事紛争の最近の問題点」

加藤法律事務所

加藤 済仁

(Ⅱ) 「最近の高血圧の治療について」

東京大学医学部内科教授 藤田 敏郎

#### 第63回 集談会

平成11年10月24日(日)

湘南国際村内「ロフォス湘南」

一般演題 20題

#### 特別講演

(I) 「幕末から日本近代医学の確立まで」

順天堂大学医史学教授

酒井 シズ

(Ⅱ) 「力士入門後経年的にみたデータの変遷」

日本相撲協会診療所

林 盈六

#### 第64回 集談会

平成12年3月12日(日)

スパウザ小田原

一般演題 16題

#### 特別講演

(I) 「慢性心不全の治療

―病態理解の変遷をふまえて―」 東海大学医学部循環器内科学教授

半田俊之介

(Ⅱ) 「診断学と診断術の新しい考え方について」

聖路加国際病院理事長

日野原重明

#### 第65回 集談会

平成12年10月22日(日)

小田急厚木ホテル

一般演題 12題

#### 特別講演

(I)「頭痛の新しい治療」

北里大学内科教授

坂井 文彦

(Ⅱ)「キリスト教美術への招き」

フェリス女学院大学名誉教授

気仙 三一

#### 第66回 集談会

平成13年2月25日(日)

横浜市健康福祉総合センター

一般演題 22題

#### 特別講演

「21世紀における生活習慣病対策

-ITを利用した成人病予防法-

横浜市立大学医学部公衆衛生学教授

杤久保 修

## 第9章 臨床医学研修講座

#### 第18回 臨床医学研修講座 平成3年6月23日(日); 北里大学医学部 (1) 「心不全の病態生理と治療に関する最近の知 見」 内科学教授 木田川隆一 内科学講師 小林 明芳 (2) 「糸球体腎炎の診断と治療」 内科学講師 館野 純生 (3) 「貧血について」 内科学講師 塩谷 茂 (4) 「C型肝炎について」 内科学講師 渋谷 明隆 (5) 「初診における内分泌疾患の見方」 内科学講師 阿部 好文 (6) 「胃癌診断の進歩」 内科学教授 西元寺克禮 内科学講師 大井田正人 (7) 「頭痛の新しい国際分類と診断」 内科学講師 坂井 文彦

#### 第19回 臨床医学研修講座

(8) 「強皮症の診断と治療」

(9) 「睡眠時間の呼吸器障害について」

内科学助教授

内科学教授

平成4年6月14日(日)

聖マリアンナ医科大学8階講堂

「内科における病診連携」

(1) 第1部

座長 第二内科教授

須階 二朗

近藤 啓文

冨田 友幸

病診連携とは

ア 医師会側から

川崎市内科医会会長 三廼 信一

イ 病院側から 第2内科教授 村上 正博

(2) 第2部

座長 第2内科教授

村上 正博

「症例呈示による病診連携の検討」

医師会側・病院側による症例呈示

(3) 第3部「各疾患における病診連携のコツ」

①座長 第1内科教授

石田尚志

ア 急性腎不全の病診連携のコツ

第1内科学講師

大和田 滋

イ 脳血管障害における病診連携のコツ

第2内科講師

米山 公啓

②座長 第3内科教授

斎藤 宣彦

ア 糖尿病こんなときには病院へ

第3内科学教授

斎籐 宣彦

イ 虚血性心疾患と不整脈における病診連携のコツ

第2内科学助教授

三宅 良彦

裕

③座長 難治研教授 ア 貧血をみたら

第3内科学講師

名越 温古

水島

イ 慢性関節リウマチの診断と治療のコツ

難治研教授

市川 陽一

#### 第20回 臨床医学研修講座

平成5年7月4日

東海大学医学部講堂A

総合司会 東海大学医学部

第5内科学教授 篠原 幸人

(1) 「虚血性心疾患における再潅流療法」

第1内科学助教授

兼本 成斌

(2) 「呼吸器疾患領域における新しい治療法」

第2内科学助教授

高崎 雄司

(3) 「特発性血少板減少性紫斑病とその治療」 第4内科学講師・輸血センター 野崎 幸宏

(4) 「肝硬変に対する最新の総合的治療Ⅲ」

第3内科学教授

松崎 松平

(5) 「消化管腫瘍の内視鏡的治療」

第6内科学講師

菊池 一博

(6) 「神経疾患における血漿交換療法」

第5内科学講師

吉井 文均

(7) 「慢性腎不全とその治療の動向」

第7内科学講師

野本 保夫

(8) パネルディスカッション「最近の内科的治療の進歩」

司会 第5内科学教授

篠原 幸人

パネリスト 上記講師全員

#### 第21回 臨床医学研修講座

平成6年6月26日(日)

横浜市大医学部多目的講堂

第1部

「不随意運動の見方と治療」

横浜市立大学医学部神経内科教授

黒岩 義之

第2部

「気管支喘息の診断と治療」

横浜市立大学医学部第1内科学教室教授

大久保隆男

第3部

「虚血性心疾患の診断と治療の進歩」

横浜市立大学医学部第2内科学教室教授

石井 當男

第4部

「C型肝炎とIFN療法」

横浜市立大学医学部第3内科学教室講師

田中 克明

#### 第22回 臨床医学研修講座

平成7年7月2日(日)

#### 北里大学医学部 M37教室

(1) 「門脈圧亢進症の治療」

ア EIS.EVL を中心に

北里大学医学部内科学教室講師 国分 茂博

イ 最近の話題BRTO, TIPSを中心に

北里大学医学部放射線科学講師 磯部 義憲

(2) 「慢性関節リウマチの診断と治療」

北里大学医学部内科学教室助教授 近藤 啓文

(3) 「外来における虚血性心疾患(狭心症および

心筋梗塞)の診断と治療」

北里大学医学部内科学教室助教授 村松 3

(4) 「抗生剤の使い方」

北里大学医学部内科学教室講師 飯国 弥生

#### 第23回 臨床医学研修講座

平成8年6月30日「日」

聖マリアンナ医科大学医学部6階講堂

① テーマ「医療を考える」

ア 最近の治療 I

「胃潰瘍」

聖マリアンナ医科大学第1内科学教室講師

遠藤 徹

イ 教育講演 I

「肝炎の治療と問題点」

聖マリアンナ医科大学内科学

臨床検査医学主任教授

飯野 四郎

ウ 教育講演Ⅱ

「肺炎における抗菌剤の選択」

聖マリアンナ医科大学微生物主任教授

島田甚五郎

エ 最近の治療Ⅱ

「心房細動」

聖マリアンナ医科大学第2内科学教室助教授

三宅 良彦

オ 最近の治療Ⅲ

「甲状腺機能亢進症」

聖マリアンナ医科大学第3内科学教室講師

関田 則昭

#### 第24回 臨床医学研修講座

平成9年6月29日(日)

東海大医学部 講堂

テーマ「内科学最近の治療の進歩」

(1) 「介入試験―最近の話題―

内科学第1教室講師

阿部 純久

(2) 「肺気腫に対する肺容量減少術の臨床的有用性について」

内科学第2教室教授

桑平 一郎

イ 勤務医の立場から

新入局員

(3) 「肝硬変治療の総合戦略」 助手 講師 内科学第3教室助教授 渡辺 勲史 (4) 「慢性関節リウマチ―最近の治療―」 内科学第4教室助教授 市川 幸延 第26回 臨床医学研修講座 (5) 「パーキンソン病―最近の治療―」 平成11年7月4日(日) 内科学第5教室助教授 吉井 文均 北里大学 L 3 号館 (6) 「胃食道逆流症の考え方と治療」 第1部「内科疾患の診断と治療」 内科学第6教室助教授 原澤 茂 「循環器疾患における失神の診断と治療」 (7) 糖尿病診療における最近の考え方 北里大学医学部内科学講師 清水 完悦 内科学第7教室講師 谷亀 光則 イ 「大腸腫瘍に対する内視鏡治療の動向」 北里大学医学部内科学講師 五十嵐正広 第25回 臨床医学研修講座 「睡眠時無呼吸症候群」 北里大学医学部内科学講師 阿部 直 平成10年7月5日(日) エ 「貧血の診断と治療」 横浜市大医学部多目的講堂 ①テーマ「内科学疾患の最近の治療」 北里大学医学部内科学教授 東原 正明 「糖尿病疾患の心理的アプローチ」 オ 「適切な抗生物質の使い方」 横浜市立大学医学部第3内科講師 中島 茂 北里大学医学部感染症学教授 砂川 慶介 イ 「食道・胃静脈瘤の最近の治療」 第2部「病診連携の現状と問題点」 横浜市立大学医学部第3内科講師 斎藤 紀文 座長 神奈川県内科医学会常任幹事 中 佳一 北里大学医学部内科助教授 ウ 「慢性肝疾患の最近の治療」 横浜市立大学医学部第3内科助教授 北里大学東病院総合相談部長 斎藤 豊和 田中 克明 パネリスト 「気管支喘息の最近の話題」 開業医の立場から 横浜市立大学医学部第1内科助教授 相模原市医師会(木村医院) 志野原三津夫 鈴木 俊介 相模原市医師会(やまもとクリニック) オ「高血圧治療の最近の話題」 山本 晴章 横浜市立大学医学部第2内科助教授 総合病院の立場から 梅村 国立相模原病院長 高橋 俊毅 敏 「病態を考慮した脳卒中患者の治療」 大学病院の立場から 横浜市立大学医学部神経内科助教授 北里大学医学部内科助教授 純 長谷川 修 北里大学病院総合相談部副部長 岡田 **②**テーマ 大学病院の現場から 「内科疾患管理の病診連携について考える」 北里大学病院病診連携室 ア 開業医の立場から 北里大学東病院総合相談部看護婦 大谷 玲子 神奈川県内科医学会副会長 金子 義一 第27回 臨床医学研修講座 神奈川県内科医学会副会長 中山 脩郎 神奈川県内科医学会副会長 那須 義篤 平成12年10月7日(土)

川崎市医師会館

特別講演

- I 「高脂血症治療の最近の考え方」聖マリアンナ医科大学内科非常勤講師徳島文理大学大学院医療薬学専攻
  - 教授 村上 透
- II 「最近のinterventional radiologyについて」聖マリアンナ医科大学放射線科講師黒木 一典

## 第10章 表彰状・感謝状受賞者

#### 平成3年度

高橋 重晴 (横 浜) 鈴木 孔 (横 浜)

田辺 裕文 (川 崎) 柘植 一道 (藤 沢)

高橋 功(茅ヶ崎) 河野 友治(相模原)

山本 芳昭 (津久井)

横浜内科学会 川崎市内科医会

横浜市大医学部内科学教室

#### 平成4年度

南澤 康雄 (横 浜) 野口 正治 (横 浜)

高良 憲光 (川 崎) 正山 尭 (鎌 倉)

杉本 正春 (藤 沢) 矢嶋 良一 (平 塚)

木村三津夫 (相模原)

横須賀内科医会

北里大学医学部内科学教室

#### 平成5年

 国又
 好(横浜)
 出浦 照国(横浜)

 上田 巌(川崎)
 井澤 正(茅ヶ崎)

 霜島 正雄(小田原)
 中 佳一(厚木)

茅ヶ崎医師会内科医会, 厚木内科医会

聖マリアンナ医科大学内科学教室

#### 平成6年度

榊原 光利 (横 浜) 保坂 洋夫 (横 浜)

三科 孝夫(逗 葉) 神谷 正見(藤 沢)

近藤 暁(平塚)

横浜内科学会 川崎市内科医会

東海大学医学部内科学教室

#### 平成7年度

尺 次郎 (横 浜) 福島 芳彦 (川 崎)

長洲 堯雄(鎌 倉) 臼井 孝(藤 沢)

北川 三郎 (中 郡) 佐藤 中 (海老名)

鎌倉市医師会内科医会 秦野伊勢原内科医会

横浜市大医学部内科学教室

#### 平成8年度

丸山 豊(横浜) 東都 宏(横浜)

柁原 輝朝 (川 崎) 田中 昭平 (横須賀)

秋間 禮二(逗葉) 風呂中 隆(藤沢)

真島 元斎(相模原)

海老名内科医会 横浜内科学会

北里大学医学部内科学教室

#### 平成9年度

横井 鐘爾(横 浜) 渡辺古志郎(横 浜)

篠原 昭信 (川 崎) 亀崎 華家 (秦野伊勢原)

山口 肇久(小田原) 松崎 誠(相模原)

菅原 悌三 (座間綾瀬)

川崎市内科医会 横須賀内科医会

聖マリアンナ医科大学内科学教室

#### 平成10年度

塩田 善朗(横 浜) 小田切繁樹(横 浜)

中島 一巳(川 崎) 三浦溥太郎(横須賀)

中沢 譲二 (藤 沢) 岡部 伸彌 (足柄上)

黒澤 昭(大和)

平塚市医師会内科部会 中郡医師会内科医会

相模原市内科医会・津久井郡内科医会

東海大医学部内科学教室

#### 平成11年度

椎橋 忠男(横 浜) 宮地 清光(横 浜)

渡辺 嘉久 (川 崎)

坂本 龍(横須賀) 小池 芳樹(藤 沢)

小笠原 勲(平 塚) 森本 武志(小田原)

菊池 敏夫(相模原)

横浜内科学会 川崎市内科医会

横浜市大医学部内科学教室

松田文太郎 金子 義一 井口善二郎

#### 平成12年度

堀井 徹(横 浜) 北原 隆(横浜)

藤田 久稔 (川 崎)

山嵜 進康 (横須賀) 山本 紀章 (藤 沢)

甫守 正光 (小田原) 馬場 博康 (相模原)

高橋 正年(厚木)

逗葉内科医学会 小田原内科医会

北里大学医学部内科学教室

#### 平成13年度

宮川 政昭(横 浜) 稲葉 允(横 浜)

羽鳥 裕(川崎)

橋本 隆平 (鎌 倉) 小松田光真 (茅ヶ崎)

佐川 雄三 (藤 沢) 沓掛 伸二 (相模原)

座間綾瀬医師会内科医会 横浜内科学会

聖マリアンナ医科大学内科学教室

## 35 年 史 編 集 委 員 名 簿

## ≥ 創立35周年記念事業準備委員会

 委員長
 星
 昭
 行

 委員
 南澤康雄

 篠原昭信

## 広報委員会

編集後記

本年も秋季学術総会の時期となりました。同時に神奈川県内科医学会発足35周年の記念すべき年でもあります。

平成3年まで、栗原操会長はアイデアマンであり、数々の記念事業を計画実行され、平成3年5月の総会において松田文太郎前会長が選任され、以後10年間、当学会発展のため、日臨内との密接な関係の構築、神奈川におけるかつてみない盛況な全国大会の成功、神内医ニュースの発刊の他、数々の貢献を残され、平成13年には引退、中山脩郎新会長の時代となりました。この間の経過は神奈川県内科医学会25年誌に詳細に記されております。

中山会長は就任以来、さらに各種の事業の拡大、充実につめてこられました。

35周年記念式典は派手な演出はないが特別講演として川崎医大の二木芳人先生による「呼吸器感染症における耐性菌を踏まえた今後の抗菌薬の使い方」。さらに記念講演として「21世紀の医療(仮題)」として行天良雄先生の講演が予定されており、会員に多大の感銘を与えることと存じます。

最後に、会誌の編集については、広報委員会の多大の努力によるものであり、また、35年 史の編集にいては、川崎市内科医会会長大迫六郎先生と、常任幹事篠原昭信先生の並々なら ぬご協力によって発刊出来ることとなったことに深甚の感謝を申しあげる次第であります。

35周年の秋季学術総会が盛大なうちにも会員諸先生に感銘あるものとなりますよう祈念するものであります。

神奈川県内科医学会副会長 星 昭行

## 神奈川県内科医学会35年史·会報 No.24合併号

平成13年10月18日 印 刷 平成13年10月30日 発 行

非売品

編集 神奈川県内科医学会創立35周年記念事業準備委員会
 事業準備委員会昭行広報委員長星日行広報委員長中佳一

発 行 神 奈 川 県 内 科 医 学 会 会 長 中山 脩郎 横浜市中区富士見町 3 - 1 神 奈 川 県 総 合 医 療 会 館 神 奈 川 県 医 師 会 内 電 話 (045) 241-7000

印刷中和印刷株式会社